

## 三浦さん(磐田市立総合病院)「治療専門医学物理士」認定

磐田市立総合病院(同市大久保)放射線治療技術科の医学物理士、三浦正稔さん(33)＝浜松市浜北区＝がこのほど、国内初の試験を突破し、高い水準で放射線治療業務を遂行できる能力を持つ「治療専門医学物理士」に認定された。同試験を運営する医学物理士認定機構によると、全国から94人が受験し、県内の3人を含む49人が合格した。



第1回試験に合格し、治療専門医学物理士に認定された三浦さん＝磐田市大久保の市立総合病院

# 放射線治療技術にお墨付き

医学物理士は、放射線治療が適切に行われるよう、放射線機器の精度管理や安全性の確保を行う医療職。試験に合格すると、業務を高いレベルで行うた

めに必要な専門知識と応用能力を備える治療専門医学物理士として認められる。三浦さんは自身の技術レベルを試そうと受験。撮影画像や治療計画などについての知識と実務経験を問う筆記・口頭の試験をクリアした。「出題範囲が広く、(初の試験で)過去問もなかったので合格するとは思わなかった。培ってきた経験が認められてうれしい」と振り返る。

## 国内初の試験に合格

元々は診療放射線技師として地元・秋田県の病院で勤務していたが、より患者の安全性確保に関わることができると魅力を感じて医学物理士の資格を取得。2015年4月に現在の職場に移った。

「この仕事をするために(磐田に)来たので」と、新たな資格取得の喜びをかみしめる三浦さん。「患者一人一人に、より安全で効果的な治療を提供していきたい。医学物理士の認知度向上にも貢献できれば」と語った。

(磐田支局・駒木千尋)